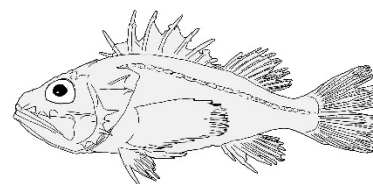


2021年2月21日 更新

和田英敏

Hidetoshi Wada (PhD)



鹿児島大学総合研究博物館 魚類分類学研究室

(鹿児島大学連合農学研究科 博士課程3年次)

役職：鹿児島大学・総合教育機構高等教育研究開発センター 特任助手 (2018/11～)

Ichthy, Natural History of Fishes of Japan 編集委員 (2020/06～)

研究テーマ 汎世界的分類群シロカサゴ科魚類の分類学的研究

所属学会 日本魚類学会, 日本動物分類学会, 熊本野生生物研究会

E-mail: gd120300[at]gmail.com

【学術論文】

査読あり

18. Wada, H., Kai, Y. and Motomura, H. 2021. Revision of the resurrected deepwater scorpionfish genus *Lythrichthys* Jordan and Starks 1904 (Setarchidae), with descriptions of two new species. Ichthyological Research, doi.org/10.1007/s10228-020-00793-z
17. 中島田正希・藤田晴大・和田英敏. 2021. 長崎県初記録のミナベヒメジ *Parupeneus biaculeatus*. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 5: 11–15.
16. 和田英敏・松井英司・松井謙弥・本村浩之. 2020. 熊本県菊池川および唐人川から得られたカライワシ仔魚の記録. 熊本野生生物研究会誌, 10: 9–12.
15. 井上賢太郎・三木涼平・和田英敏・本村浩之. 2020. 宮崎県南部沿岸から得られた日本2例目のカチドキダルマガレイ *Crossorhombus valderostratus*. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 3: 20–24.
14. 和田英敏・加藤昌一・本村浩之. 2020. 琉球列島とパプアニューギニアから得られた水中写真によって明らかになったフエダイ科ハスジマタルミ *Lutjanus dodecacanthoides* の幼魚の色彩的特徴. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 3: 1–4.

13. 和田英敏・前川隆則・本村浩之. 2020. 横当島から得られたトカラ列島初記録のイトマンオオキンギョ *Meganthias kingyo* (ハタ科: ハナダイ亜科). *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 1: 1–5.
12. 和田英敏・福地伊芙映・宮本 圭・立原一憲・本村浩之. 2020. 沖縄県初記録のアヤマイズハナダイ(ハタ科ハナダイ亜科)および本種の標徴に関する再評価. *タクサ*, 49: 67–73.
11. Wada, H., Kai, Y. and Motomura, H. 2020. Redescription of the circumglobal deepwater scorpionfish *Setarches guentheri* (Setarchidae). *Ichthyological Research*, doi/10.1007/s10228-020-00762-6
10. 渋谷駿太・緒方悠輝也・三木涼平・和田英敏・本村浩之. 2020. 九州南部と琉球列島から確認されたヒキマユメイチ (スズキ目フエフキダイ科). *Fauna Ryukyuna*, 55: 9–16.
9. Morishita, S., Miki R., Wada, H., Itou, M. and Motomura, H. 2020. Morphological comparisons of *Sphyraena qenie* with *S. putnamae*, plus a revised key to Indo-Pacific species of *Sphyraena* lacking gill rakers and a review of Japanese records of *S. qenie* (Sphyraenidae). *Ichthyological Research*, doi/10.1007/s10228-020-00738-6
8. 和田英敏・甲斐嘉晃・本村浩之. 2020. 岩手県沖から得られた北限記録のヘリキホウボウ *Peristedion riversandersoni*, および本種の標徴に関する新知見. *タクサ*, 48: 63–70.
7. Wada, H., Suzuki, T., Senou, H. and Motomura, H. 2020. *Plectranthias ryukyuensis*, a new species of perchlet from the Ryukyu Islands, Japan, with a key to the Japanese species of *Plectranthias* (Serranidae: Anthiadae). *Ichthyological Research*, doi/10.1007/s10228-019-00725-6
6. 渋谷駿太・伊東正英・桜井 雄・和田英敏・本村浩之. 2019. 薩摩半島と琉球列島から得られたテルメアジ(アジ科)の記録. *日本生物地理学会会報*, 74: 87–92.
5. Wada, H., Hata, H. and Motomura, H. 2019. First Northern Hemisphere Record of a Poorly Known Armored Searobin *Peristedion richardsi* (Actinopterygii: Teleostei: Peristediidae) from Taiwan. *Species Diversity*, doi/10.12782/specdiv.24.203
4. 和田英敏・伊東正英・本村浩之. 2019. 鹿児島県から得られた日本初記録のアジ科魚類 *Trachinotus anak* ヨコヅナマルコバン(新称). *魚類学雑誌*, 66: 181–186.
3. Fujiwara, K., H. Wada and H. Motomura. 2019. A new species of the greeneye genus *Chlorophthalmus* (Teleostei: Chlorophthalmidae) from the central North Pacific. *Zootaxa*, 4555: 396–406.

2. 和田英敏・三木涼平・上城拓也・本村浩之. 2019. 熊本県天草近海から得られた熊本県初記録を含む魚類. 熊本野生生物研究会誌, 9: 17–24.

1. Wada, H., Senou, H. and Motomura, H. 2018. *Plectranthias maekawa*, a new species of perchlet from the Tokara Islands, Kagoshima, Japan, with a review of Japanese records of *P. wheeleri* (Serranidae: Anthiadinae). Ichthyological Research, doi/10.1007/s10228-018-0674-z

査読なし

11. 手良村知功・藤川大学・和田英敏. 2020. 遠州灘から得られたベニマトウダイの記録と本種の成長変化に関する新知見. Nature of Kagoshima, 46: 519–524.

10. 和田英敏・伊東正英・本村浩之. 2019. 薩摩半島南西沖から得られた東シナ海3例目のマルカワカジカ. Nature of Kagoshima, 46: 151–154.

9. 和田英敏・伊東正英・本村浩之. 2019. 薩摩半島西岸から得られた北限記録のオオフエフキ. Nature of Kagoshima, 46: 53–56.

8. 和田英敏・本村浩之. 2019. モヨウキカイウツボの奄美群島からの初めての記録, 本種の国内における分布記録の再検討, および水中写真に基づく *Uropterygius cf. polyspilus* の記録. Nature of Kagoshima, 45: 385–390.

7. 和田英敏・伊東正英・本村浩之. 2019. 薩摩半島南西岸から得られたオオクチイケカツオの日本における3個体目の記録およびブリハダムシの新たな宿主事例. Nature of Kagoshima, 45: 323–327.

6. 荻野 星・平 瑞樹・田代郷国・Sirikanya Chungthanawong・和田英敏・藤原恭司・川間公達・Emmanuel S. Delloro Jr.・荒木萌里・立川日奈子・松沼瑞樹. 2019. 鹿児島県いちき串木野市観音ヶ池の護岸工事水抜きに伴う魚類相の現状把握. Nature of Kagoshima, 45: 225–228.

5. 和田英敏・本村浩之. 2019. チカメタカサゴの日本における成魚3個体目の記録. Nature of Kagoshima, 45: 193–195.

4. 和田英敏・萩原清司・本村浩之. 2018. 鹿児島県沖永良部島から得られた北限記録のヒラウミタケハゼおよび本種の生態学的新知見. Nature of Kagoshima, 45: 103–107.

3. 和田英敏・本村浩之. 2018. ニザダイ科魚類ナガテングハギモドキの鹿児島県薩摩半島と種子島からの記録. Nature of Kagoshima, 44: 315–319.

2. Iwatsuki, Y., Nagino, H., Tanaka, F., Wada, H., Tanahara, K., Wada, M., Tanaka, H., Hidaka, K. and Kimura, S. 2017. Annotated checklist of marine and freshwater fishes in the Hyuga Nada

area, southwestern Japan. The Bulletin of the Graduate School of Bioresources, Mie University, 43: 27–55.

1. Koeda, K., Maekawa, T., Wada, H. and Motomura, H. 2016. Records of the Orange Goatfish, *Mulloidichthys pflugeri* (Teleostei: Mullidae), from Amami-oshima and Yonaguni-jima islands in the Ryukyu Archipelago, southern Japan, South Pacific Studies, 37: 1–8.

【書籍】

7. Wada, H. 2021. *Gobiodon quinquestrigatus, Istigobius decoratus, I. goldmanni, I. nigroocellatus, I. ornatus, Macrodontogobius wilburi, Pleurosicya labiata, Priolepis nuchifasciata* (Gobiidae). Pp. 71–74. Motomura, H., S. Kimura, Y. G. Seah, S. T. Sheikh Abdul Kadir, and M. A. Ghaffar (eds). Reef and shore fishes of Bidong Island, off east coast of Malay Peninsula. The Kagoshima University Museum, Kagoshima.
6. Wada, H. 2020. Setarchidae, Apistidae, Haemulidae, Hapalogenyidae, Blennidae, and Nomeidae. Pp. 502–505, 823–838, 1106, 1185–1189. In: Koeda, K. and Ho, H.-C. (eds). Fishes of Southern Taiwan (Second Edition). National Museum of Marine Biology & Aquarium, Pingtung.
5. 和田英敏. 2020. シラウオ・ミナミメダカ・セダカダイミョウサギ・シロウオの解説. Pp. 61, 66, 69, 75, 104. 本村浩之・山本智子・田金秀一郎 (編). 鹿児島県北西部 不知火海にそそぐ 高尾野川河口周辺の生きものたち. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島.
4. Wada, H. 2019. Setarchidae, Apistidae, Haemulidae, Hapalogenyidae, Blennidae, and Nomeidae. Pp. 502–505, 823–838, 1106, 1185–1189. In: Koeda, K. and Ho, H.-C. (eds). Fishes of Southern Taiwan. National Museum of Marine Biology & Aquarium, Pingtung.
3. 和田英敏. 2019. ノコギリザメ科・アカナマダカ科・リュウグウノツカイ科・ゴクラクギョ科の解説. Pp. 18, 38, 400. 本村浩之・萩原清司・瀬能 宏・中江雅典 (編). 奄美群島の魚類. 南日本新聞開発センター, 鹿児島.
2. 和田英敏. 2017. くちのえらぶコラム その魚にご用心! 危険な魚ってなんだろう? Pp. 67–69. 木村祐貴・日比野友亮・三木涼平・峯 健・小枝圭太 (編). 緑の火山島 一口永良部島の魚類, 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島.
1. Koeda, K., Hibino, Y., Yoshida, T., Kimura Y., Miki, R., Kunishima, T., Sasaki, D., Furukawa, T., Sakurai, M., Eguchi, K., Suzuki, H., Inaba, T., Uejo, T., Tanaka, S., Fujisawa, M., Wada, H. and

Uchiyama, T. 2016. Annotated checklist of fishes of Yonaguni-jima island, the westernmost island in Japan. The Kagoshima University Museum, Kagoshima. vi + 120 pp.

【その他・執筆】

2. 和田英敏. 2019. 有毒魚類ツムギハゼに注意. 熊本野生生物研究会機関誌 SIGN POST, 34(1) : 11, 13.
1. 和田英敏. 2019. 【第 52 回会員研究発表会】研究発表の部 熊本県天草市近海から得られた熊本県初記録を含む魚類. 熊本野生生物研究会機関誌 SIGN POST, 34(1) : 3-4.

【学会発表】

口頭発表

5. 和田英敏・松井英司・松井謙弥・本村浩之. 2020. 熊本県菊池川および唐人川から得られたカライワシ仔魚の記録. 熊本野生生物研究会第 55 回会員研究発表会. 熊本, 研究発表 1. 2021 年 2 月.
4. 和田英敏・甲斐嘉晃・本村浩之. シロカサゴ科シロカサゴ属 *Setarches* の新参異名とされていたアカカサゴ属 *Lythrichthys* の有効性と 2 未記載種. 2020 年度日本魚類学会年会 (ウェブ大会). 口頭発表, 発表番号 27.
3. 和田英敏・是枝伶旺・古橋龍星・本村浩之. 韓国原産淡水性魚類コウライオヤニラミの九州・大淀川水系における分布状況. 熊本野生生物研究会第 54 回会員研究発表会. 熊本, 研究発表 2. 2020 年 2 月.
2. 和田英敏・甲斐嘉晃・本村浩之. シロカサゴ科シロカサゴ属魚類 *Setarches guentheri* の新参異名とされていた *S. fidjiensis* の有効性. 第 52 回魚類学会年会, 高知市, 発表番号 47. 2019 年 9 月.
1. 和田英敏・三木涼平・上城拓也・本村浩之. 熊本県天草市近海から得られた熊本県初記録を含む魚類. 熊本野生生物研究会第 52 回会員研究発表会. 熊本, 研究発表 1. 2019 年 2 月.

ポスター発表

6. Wada, H., Kai, Y. and Motomura, H. Validity of the deepsea scorpionfish genus *Lythrichthys*, previously regarded as a junior synonym of *Setarches* (Setarchidae). The 2nd ICFAES 2019

International Conference on Fisheries, Aquatic and Environmental Sciences 2019 In
Conjunctions with the 6th ASI 2019 Annual Conference of The Asian Society of Ichthyologist
2019, Banda Ache, Indonesia, 19–20 June 2019.

5. 和田英敏・伊東正英・本村浩之. 日本初記録種のアジ科魚類 *Trachinotus anak* および近年鹿児島県本土近海から確認された南方系魚類成魚の偶来記録の総括. 日本動物分類学会第 55 回大会, 小田原市, 発表番号 P-23. 2019 年 6 月.
4. Wada, H., Kai, Y. and Motomura, H. Taxonomic review of the genus *Setarches* (Setarchidae) in East Asia. The Annual Conference of the Asian Society of Ichthyologists 2018, Nanning, China, 1–5 Dec. 2018.
3. 和田英敏・甲斐嘉晃・本村浩之, 西太平洋から得られたシロカサゴ科シロカサゴ属の 3 未記載種. 第 51 回魚類学会年会 (50 周年記念大会), 東京都新宿区, 発表番号 85. 2018 年 10 月.
2. 和田英敏・瀬能 宏・宮本 圭・本村浩之. 日本近海から得られたハタ科イズハナダイ属の色彩多型. 日本動物分類学会第 54 回大会, 鹿児島市, 発表番号 P-25. 2018 年 6 月.
1. 和田英敏・岩槻幸雄. パラオ共和国から発見されたクロサギ科ミナミクロサギ類似種群の未記載種. 第 50 回魚類学会年会, 函館市, 発表番号 94. 2017 年 9 月.

【報道・メディア関係】

11. 世界でも珍しい種 イトマンオオキンギョ 日本で 4 カ所目の記録. 南海日日新聞, 2020 年 6 月 19 日.
10. 沖縄の美ら海水族館でまたも世界初展示 琉球列島固有の深海魚. 沖縄テレビ, 2020 年 2 月 5 日.
9. 目がくりくり、愛くるしい姿 世界初、新種の深海魚を展示 美ら海水族館で「チュラシマハマダイ」. 琉球新報, 2020 年 2 月 5 日.
8. 新種だった…美ら海水族館で別名展示された時期も. 沖縄タイムス, 2020 年 2 月 5 日.
7. ハタ科の魚 実は新種／チュラシマハマダイ／美ら海水族館 鹿大研究で判明. 沖縄タイムス, 2020 年 2 月 4 日.
6. 初確認 ビッグな「ヨコヅナ」鹿児島. 読売新聞, 2019 年 8 月 15 日.

5. 大型アジ「ヨコヅナマルコバン」 笠沙沖で発見 大相撲ファンの鹿大院生命名. 南日本新聞, 2019年7月25日.
4. ハタ科の新種発見. トカラ近海で赤い網目模様. 朝日新聞, 2018年12月15日.
3. 十島に新種の新種ハタ. 南日本新聞, 2018年12月13日.
2. 新種の新種ハタの仲間発見. 鹿大総合研究博物館「アヤメイズハナダイ」と命名. 奄美新聞, 2018年12月13日.
1. トカラ海域で新種の新種魚類発見. 前川氏にちなみ命名. 南海日日新聞, 2018年12月13日.

【調査等の記録】

- 2020年11月2-6日: 静岡県浜松市(遠州灘)にて魚類相調査
- 2020年10月14-19日: 鹿児島県甬島にて魚類粗調査
- 2020年6月28日-7月4日: 鹿児島県徳之島にて魚類粗調査
- 2020年3月5-7日: 出水市高尾野川にて魚類相調査
- 2020年3月30日-4月3日: 高知大学にて標本調査
- 2019年12月8-12日: 京都大学舞鶴水産実験所にて分子実験・標本調査
- 2019年11月25-28日: 鹿児島県喜界島にて魚類相調査
- 2019年10月19-26日: 南アフリカ水生生物多様性研究所にて標本調査
- 2019年10月15-18日: 南アフリカ博物館にて標本調査
- 2019年9月2-7日: 京都大学舞鶴水産実験所にて分子実験・標本調査
- 2019年7月8-12日: 京都大学舞鶴水産実験所にて分子実験・標本調査
- 2019年5月29-31日: 国立科学博物館にて標本調査
- 2019年5月22-28日: オーストラリア博物館にて標本調査
- 2019年5月16-21日: オーストラリア連邦科学産業研究機構にて標本調査
- 2019年4月22-23日: 鹿児島県竹島にて魚類相調査
- 2019年3月16-18日: 鹿児島県笠沙にて魚類相調査
- 2019年1月7-18日: 京都大学舞鶴水産実験所にて分子実験・標本調査
- 2018年12月16-18日: 鹿児島県笠沙にて魚類相調査
- 2018年10月20-27日: 沖永良部島にて魚類相調査
- 2018年9月7-16日: パリ自然史博物館(仏)にて標本調査
- 2018年8月28日: いちき串木野市観音ヶ池にて魚類相調査

2018年7月5-14日：スミソニアン自然史博物館（米国）にて標本調査
2018年6月26日-7月4日：カリフォルニア科学アカデミー（米国）にて標本調査
2018年5月22-25日：国立科学博物館つくばセンター（NMST）にて標本調査
2018年5月20-22日：神奈川生命の星・地球博物館（KPM）にて標本調査
2018年5月4-14日：国立海洋生物博物館（台湾・車城）にて標本調査
2018年5月1-3日：中央研究院（Academia Sinica：台湾・台北）にて標本調査
2018年4月25-28日：諏訪瀬島（トカラ列島）魚類相調査
2017年3月25-26日：パラオ共和国にて魚類調査
2016年8月18-20日：鹿児島県口永良部島にて魚類相調査
2015年9月14-25日：沖縄県与那国島にて魚類相調査

【地域活動・学会補助活動】

2020年10月3日：錦江湾学習会『重富海岸の生物を調べよう』（補佐）
2019年8月5日：五位野川生き物観察会（鹿児島市平川動物公園：解説）.
2019年2月16日：鹿児島生物多様性シンポジウム～もっと外来種を知ろう！～（魚類
標本展示・解説）.
2018年7月1日-8月31日：鹿児島大学総合博物館 第18回 特別展，笠沙の魚たち
（実行委員）.
2018年6月9-10日：日本動物分類学会第54回大会（運営補助）.
2017年10月14日：宮崎県自然保護推進委員会 自然保護推進員大会に講師として参
加，活動報告「準絶滅危惧種セダカダイモウサギの調査観察 -付録：近年宮崎で
確認された魚たち-」を発表.

【助成金・支援金】

2020年度．令和2年度連合農学研究科研究助成支援．シロカサゴ科魚類をモデルとし
た深海性底生魚の汎世界的分散・進化プロモーターの実態解明．約20万円
2019年度．令和元年連合農学研究科研究助成．シロカサゴをモデルとした深海性底生
魚の汎世界的分散・進化プロモーターの実態解明．約20万円
2019年度．鹿児島大学海外学会発表支援事業．インドネシア渡航費・学会参加費助
成．約10万円.

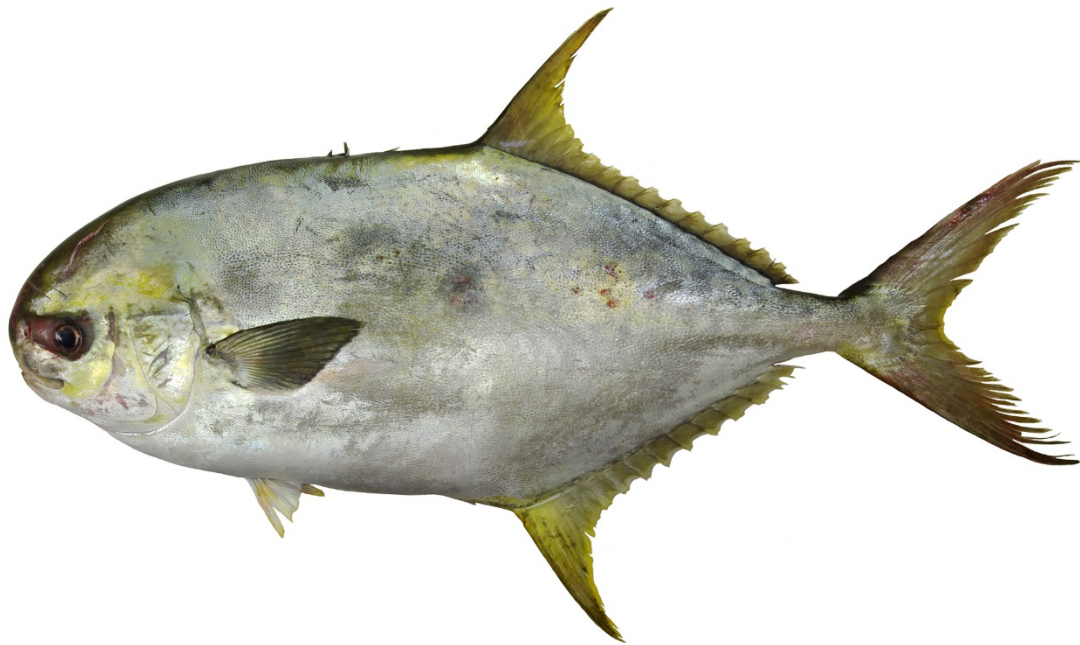
2019年5月1日–2020年3月31日：2019年度笹川科学研究助成，2019–4105：汎世界的分布種シロカサゴの分散から読み解くグローバルコンベアーベルトによる生態輸送システムの実態解明。約66万円。

2018年11月31日–12月5日：平成30年度鹿児島大学学生海外学会発表支援事業（The Annual Conference of the Asian Society of Ichthyologist 2018：参加費・旅費）。約10万円。

【賞与等】

First Best Poster. The 2nd ICFAES 2019 International Conference on Fisheries, Aquatic and Environmental Sciences 2019 In Conjunctions with The 6th ASI 2019 Annual Conference of The Asian Society of Ichthyologist 2019, Banda Aceh, Indonesia, 19–20 June 2019.

【発表した分類群（抜粋）】



ヨコヅナマルコバン *Trachinotus anak* Ogilby 1909



チュラシマハナダイ *Plectranthias ryukyuensis* Wada, Suzuki, Senou and Motomura 2020



アカカサゴ *Lythrichthys eulabes* Jordan and Starks 1904



アズキカサゴ *Lythrichthys cypho* (Fowler 1938)

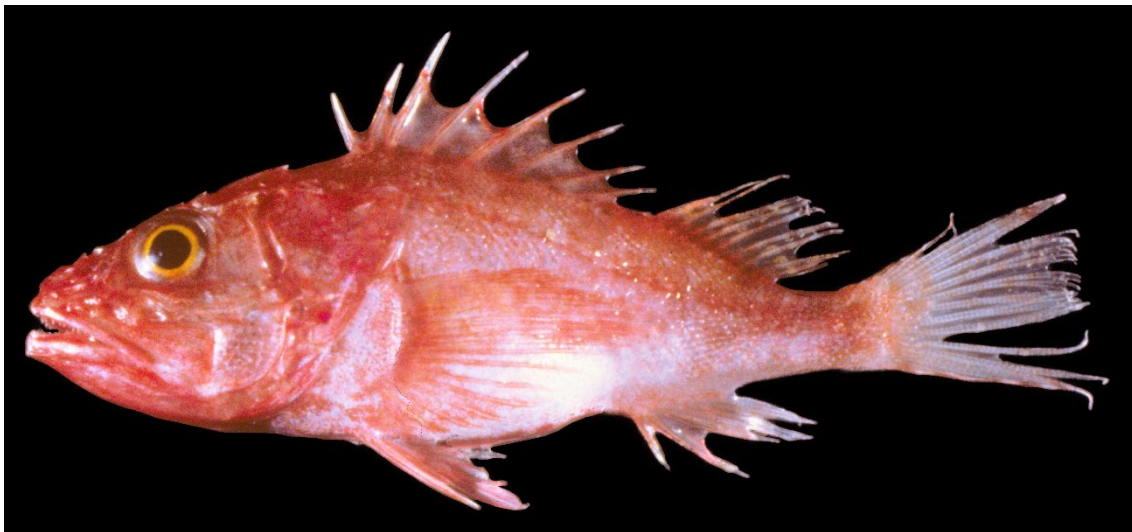


スミクイアカカサゴ *Lythrichthys longimanus* (Alcock 1894)

(写真は京都大学提供)



Lythrichthys grahami Wada, Kai and Motomura 2021
(写真はオーストラリア連邦科学産業研究機構提供)



Lythrichthys dentatus Wada, Kai and Motomura 2021
(写真はオーストラリア連邦科学産業研究機構提供)